きらりん　えがお　No.2

令和７年５月１２日
平田幼稚園
園長　田中佳江

ゴールデンウィークが終わりました。お出かけされた方、おうちでゆったりと家族で過ごされた方・・・いろいろだったと思います。ゴールデンウィークあけの７日（水）、久しぶりに登園してきた子ども達は泣くこともなく、全員出席で元気いっぱいでした。とても良いお休みを過ごされたんだなと感じました。

これからだんだんと暑くなり、活動も活発になっていきます。疲れもたまってくると思います。降園後はゆっくりと体を休めて、また次の日元気で過ごせるようにしましょうね。

年少児は「楽しいこと」「新しいこと」に目がキラキラ

年少児は、保育所での経験がある方もいらっしゃるでしょうが、することなすことほぼ初めてのことばかりです。砂場では砂や水の感触や心地よさを味わい、ままごとでは美味しそうな玩具の食べ物をお皿に入れて遊んでいます。担任は、子ども達の様子を見ながら、砂場道具にスコップを出したり、ごちそうを入れられるカバンを出したり、段ボールで電車を作ったり、素材でマイクを作ったり・・・。毎日、少しずつ新しいものを準備しています。子ども達は目を輝かせて、新しいものに飛びついて遊びます。そうやって新しい遊びをすることで、「この遊び、楽しい！」「あの遊びも面白いな」と、自分のお気に入りの遊びが見つかり、繰り返し夢中になって遊ぶようになります。３歳のこの時期、夢中になって遊ぶ・気持ちを開放して遊ぶ経験ってとても大事です。

また、繰り返し遊ぶ中で、友達と「同じだね」という気持ちをもったり、同じ場で同じものをもって遊んだりして、友達との関わりが少しずつ楽しいものになってきています。

そうやって、遊びの楽しさや友達とのかかわり方を少しずつ学んでいくんですね。

「ごちそう持って電車に乗って」

「お山から水を流したよ」

「新聞紙の雨みたい！」

子ども達の『思い』を大事にする年長・年中組の活動

毎年、平田船川の上に掲げられるこいのぼりの見学や、園周辺で生き物との出会いをするような園外保育は行っています。今年は、一人の子が「先生、川の上にこいのぼりが泳いでいたよ。みんなで見に行きたいな」とつぶやいた一言を「〇ちゃんが川の上でこいのぼりを見たんだって」とクラスで広げると、「あっ、ぼくも見た」「私も」「見に行こうよ」と盛り上がりました。そして５月１日に、川の上を気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりを見に行って楽しむことができました。

また、一人の子が「昨日、おうちでザリガニ取りに行ったよ」という話を聞いて、ご家族の方から場所を聞き、下見をして、クラスのみんなに話をしました。みんなは「ザリガニ、取りたーい」「みんなで行こうよ」と、網やバケツをもって出かけました。残念ながらこの日はザリガニは取れませんでしたが、園に帰ってから子ども達は「先生、今度は作戦立てよう！」「餌がいるんじゃない？」「長靴もね」「水が冷たいとダメなんだって」など、次々といろいろなアイディアが出てきました。

教師は、こいのぼり見学も小動物探しも、保育計画で立てていましたが、このように子ども達から「〇〇したい」「次はこうしようよ」などの思いを受け止めて実現した活動は、子ども達にとって「みんなで考えたことなんだ」という自主性を育むことになります。幼稚園の３年間でこうした力が身に付くといいなと思いながら、一緒にこいのぼり見学やザリガニ探しを楽しんだ私です。

「こいのぼり、気持ちよさそう」

「ザリガニ、どこかなぁ？」

「赤ちゃんザリガニだよ」

春の遠足、楽しかったね

春の遠足（９日）は、浜山公園で遊ぶことを楽しみにしていましたが、天候が危ぶまれたのでゴビウスに行きました。年中・年長児は幼稚園バスで、年少児は親子で現地集合でした。

他の幼稚園や保育所からも遠足に来ておられ館内へ入られたことや、雨が降りだす前に体を動かしたいという思いから、最初は芝生の広場で体を存分に動かしたり、自然に触れたりして遊びました。年長・年中児はほとんどの子が鬼ごっこを楽しみました。担任や、年少児のお父さんも加わってくださり、よりスリル感が増し、盛り上がりました。年少児はダンゴムシを見つけたり、遊具へ登ったりと、おうちの人と好きなことを見つけて楽しみました。

休憩をした後、ゴビウスの館内を見学しました。まず最初に大きなカメにビックリ！次々に、クラゲや大きな魚、小さな魚、たくさんの魚が群れになって泳ぐ様子などを、興味をもって見たり、友達や先生に気付いたことを伝えたりしながら楽しみました。

最後は、ザリガニと触れ合えるコーナー。どの子も興味はあるのですが、その触れ合い方は様々でした。つかみ方を知っていてザリガニの脇腹あたりをさっと持つ子、捕まえたいけれど動きが速くてなかなか捕まえられない子、掴んだ子の様子をよく見て真似て「掴めた」と喜ぶ子、こわくて手を水につけるだけの子・・・いろいろでした。

お弁当は幼稚園へ帰って、みんなで遊戯室で食べました。たくさん遊んだので、お弁当がとっても美味しかったようです。

芝生の広場でかけっこ

大きなカメに夢中

ザリガニ、つかめるかな

絵本の大好きな子どもになってほしいなぁ

平田幼稚園では、絵本との触れ合いをとても大切にしています。

降園時や活動時の必要に応じて行う担任の読み聞かせ、不定期に行う園長による読み聞かせ『絵本劇場』、保護者ボランティア『めだかのおはなしやさん』による月１回の読み聞かせ、平田図書館の方による２か月に１回の読み聞かせ、毎週木曜日に行う絵本の貸し出しなど、絵本とたくさん触れ合う機会を設けて、想像力を豊かにしたり、いろいろな気づきや発見をしたりして、豊かな心を育んでほしいと願っています。

また、普段から好きな時に絵本を見たり、調べたりできるように、保育室には季節の絵本や活動に応じた絵本などを置いています。

５ 月から絵本の貸し出しが始まりました。お子さんが借りて帰られた絵本を一緒に見たり、読み聞かせをしたりしてあげてくださいね。

☆平田図書館さんの読み聞かせ

【年中児】

『ねぇどっちがすき？』	安江リエ／文、降矢奈々／絵、福音館書店／刊
『よかったねネッドくん』	レミー・シャーリップ／さく、偕成社／刊
『いちご』	平山和子／さく、福音館書店／刊
『はらぺこおおかみのデコとボコ』	みやにしたつや／作絵、ひかりのくに／刊

【年長児】

『たけのこにょきにょき』	いもとようこ／絵と文、至光社／刊
『おおきくなるっていうことは』	中川ひろたか／文、村上康成／絵、童心社／刊
『ワニぼうのこいのぼり』	内田麟太郎／文、高畠純／絵、文溪堂／刊